

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームはなんばの里

施設種類：グループホーム・小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：令和5年3月29日 14時～15時15分

会場：グループホームはなんばの里

出席者
（人数）

利用者代表	0人	有識者	0人
利用者家族	2人	高齢者あんしん支援センター職員	0人
地域住民の代表	2人	出雲市職員	1人
その他（施設長、潮風苑施設長）			2人

（議題）

1. 利用者状況報告
2. 活動状況報告
3. 今後の行事予定について
4. 令和5年度事業計画
5. 利用料等の変更について

（報告・説明事項）※グループホームはなんばの里に関するもの

利用者の状況報告	・現入所者数、申込者数、入退所状況、入所者状況、（性別、介護度、年齢） ※前回運営推進会議以降入所1名、退所3名、現入所者数16名
活動状況報告	・2月～3月に実施した主な行事・活動の報告 〔節分会、ぼたもち作り、ひな祭り会、消防避難訓練、春のお花見ドライブ、誕生会〕
今後の行事予定について	・誕生会・お楽しみ会（5月10日）
次年度事業について	・事業計画の配布、次年度重点目標・前年と異なる箇所について説明
利用料の変更について	・物価高騰等に伴う食費・光熱水費の変更についての説明

（会議の内容…評価、要望、意見、助言等）

○ 家族の代表より

春のお花見ドライブは参加利用者が4名と少ないですが、他の方は参加が難しい方たちですか。

⇒ 施設より

報告した資料では4名となっていますが、本日数名の方が出かけておられるところですが、出かけることが難しい方は2名おられます。

⇒ 地域住民代表より

多数の行事を一日にまとめて行っておられるようですが、何か理由がありますか。

⇒ **施設より**

行事があるときには普段より職員の人数を増やしていますが、月に数回行事があるとそれだけ職員を増員しなければなりません。人員が不足していても同じ日にいくつもの行事を併せて行い、日々の人員の確保をしているという理由です。

○ **出雲市より**

消防避難訓練をされたという報告がありましたが、災害対策の訓練などはどうしておられますか。また、非常災害対策や感染のBCPを作成しないといけないことになっていますが、まだ作成していない法人・施設も多いと聞きます。多伎の郷ではどうですか。

⇒ **施設より**

BCPは災害も感染も作成しています。しかし、はなんばの里で実際にコロナが発生して対応した時に見直しが必要だと強く感じました。都度見直しをしていかないといけないものだと思います。非常災害対策の訓練については田儀のはなんばの里・デイやまももは土砂災害の危険が高いため以前は単独で行っていましたが、その後、平成30年・令和元年の2回は多伎の郷全体で訓練を行うようになりましたが、コロナが発生して以降は中止しています。消防避難訓練のように毎年2回ずつやっていると、自然と対応できるようになりますが、非常災害対策の訓練は長らく行っていないので様子がつかめなくなってきました。コロナの状況にもよりますが、法人全体で行わないことになって田儀の施設だけは危険度が高いので行っていきたいと考えています。

○ **出雲市より**

非常災害時の備蓄はどの程度ありますか。

⇒ **施設より**

3日分揃えるように努めてはいますが必要と思われる物全て揃えることは難しいです。逆に、施設の方で不足が生じた場合、市から支援してもらうことはできますか。市には備蓄がありますか。

⇒ **出雲市より**

市も避難所となるコミセンにいくらかの備蓄をしていますが、十分ではありません。要請があれば状況によっては協力できると思います。また、市の備蓄は一時的に貸与するという形になります。多伎行政センターに申し出てください。

○ **出雲市より**

新型コロナ対策については、国が規制を緩和してきていますが、多伎の郷の対応方針はどうなっていますか。

⇒ **施設より**

国は規制を緩和する一方で高齢者施設での感染拡大を防ぐ取り組みも求めています。県の対応の中では『従業員にマスクの着用を求めることは許容される』と書かれています。多伎の郷では昨年の12月以降各施設・事業所でコロナが蔓延しようやく収まってきたという状況で、今後も対策の継続は必要と考えています。コロナが2類から5類に移行する5月までは、現状と同様の感染対策を続け、その後の状況で5月末からの対応を検討していくことにしています。面会はWEB面会・窓越面会・看取り時の面会に限定させていただきます。ボランティアの受入中止も継続です。職員に対しては勤務中だけでなく、勤務外でも外出時のマスク着用を求めています。ただ、実習生の受入は学生の資格取得等への影響が大きいため、感染対策をした上での受け入れを計画していきたいと考えています。

○ **出雲市より**

多伎の郷ではトリニティカレッジ出雲校などの専門学校对学生に対して新規採用の募集をしておられますか。せっかく専門学校へ行っても福祉の仕事に就かない学生も多いということを聞いていますがどうでしょうか。

⇒ **施設より**

職員の欠員により募集しても学生の応募がないということもあったと思います。双方がうまくマッチングするということがなかなかなかったように思います。一方、多伎の郷の特養潮風苑では結果的に4、5名トリニティカレッジ出雲校出身の職員がいます。潮風苑で実習をして良かったからということで学生の方から応募するような形で就職した職員もいます。また、はじめは他の法人や会社に就職して、後に多伎の郷にかわってきたという職員もいます。

○ **地域住民の代表より**

食費の値上げは実費分ですか。

⇒ **施設より**

はなんばの里の食費の大半は委託業者から送られてくる湯煎商材の金額です。委託業者が値上げた湯煎商材の金額一食分10円ずつをそのまま値上させていただくということになります。他に、はなんばの里で作っているご飯と味噌汁の原材料代としての米や味噌なども値上がりしているものがありますが、それは計算していません。

(その他)

○ **次回開催予定日** 5月23日(火)